

平成 2 1 年度

品川区立第二延山小学校  
校長 宮下 和子



# 二延 学校だより 9月号

<http://www1.cts.ne.jp/enzan2>

## 備えあれば憂いなし

校長 宮下 和子

夏季休業日も終わろうとする8月24日(月)午後4時前、突然学校の全館が停電しました。復旧は翌25日(火)の午後4時45分。ほぼ24時間の停電は区の施設としては例がないとの事で、本校教職員と登校していた児童にとって、思わぬ自然災害に備える「危機管理対応」が試された貴重な体験となりました。

平成19年1月に落成した第二延山は、大地震等の自然災害に備えて、様々な防災上の設備が施されています。しかし、全ての防災設備を非常時の状態にセットして体験する機会はありません。今回の落雷による高圧ケーブルの破損に起因する全館停電は、その意味で良い防災訓練の機会ともなりました。

8月24日(月)今年も復習教室が始まりましたが.....

8:30 復習教室実施(参加児童261名) すまいる実施(参加児童87名)

10:30 学校評価、三委員会、学年団会議等、諸会議(予定通り実施)

16:00前 落雷・停電

落雷による停電と同時に、非常発電装置が稼働し、災害時の避難場所である各教室、学年ブース、廊下、階段等の照明が点灯。照度は低いですが安全上有効。

全職員による施設・設備点検開始。すまいる参加児童の家庭への連絡。

トイレ使用不能。水道停止。パソコン使用不能。電子錠不能。放送設備不能。

区教育委員会施設係・すまいる担当者等関係者来校。復旧に向けた取り組み開始、翌日の運営に向けた対策の検討。翌日の復旧まで担当者間で継続作業。

8月25日(火)依然として停電は続行中の二日目.....

8:30 復習教室実施(参加児童269名) すまいる実施(参加児童77名)

10:30 学校評価・職会議会、研究全体会・分科会等、諸会議

16:45 復旧・後片付け

停電継続中。復旧工事のため非常電源停止。電話回線不能14:00。

全参加児童をアリーナに集め、拡声器使用、本日の状況の説明とトイレの使い方について周知。すまいる参加児童の弁当・水筒の一括管理。

全校児童がガレリアトイレ使用。90ℓポリ容器4個に張った水を次々と小バケツに汲み、用便後流す。使用後は消毒噴霧器を使用。児童の混乱は無し。

教室棟やガレリアは外光が入り明るい、その他の部屋は暗く、すまいるは光を求めて図書室移動。教職員は暗くても粛々と諸会議や業務を続行する。

すまいる参加児童の家庭への連絡。早めのお迎えを依頼。

保護者向け一斉配信メールで復旧のお知らせ。

本日、9月1日(日)始業式の日も東京都総合防災訓練の日でもあります。災害は思わぬ時に思わぬ形で日常の生活を寸断します。今回の落雷による自然災害(停電)も、児童は、年間11回の避難訓練を行い、非常時に教師の指示に従うことや、行動パターンを身に付けていたので大きな混乱もなく(誠に不便ではありましたが)学校生活を送ることが出来ました。教職員も災害マニュアルに基づき、指揮系統に乱れなく児童の安全確保ができ、改めて日常の備え(訓練により獲得した危機感覚と行動能力)の大切さを実感した次第です。

2学期の始まりと共に新型インフルエンザの流行が確認されています。学校からは今後必要に応じて的確な情報発信に努めて参ります。無闇に恐れることはありませんが、学校は集団生活の場でもありますので、各ご家庭におきましても毎日の「検温」「健康観察カード」の記入を忘れることなく、お子様の健康観察をきめ細かに行うなど、家庭の役割を十分に発揮して頂きたいと願っています。

また、2学期は学校・PTA共催の運動会を皮切りに、子ども達にとって楽しみにしている行事や、学習の充実期でもあります。全てにおいて「備えあれば憂いなし」。学校・PTA・地域・行政の協働が試される学期でもあります。

## 確かな学力の定着を目指して～習熟度別学習・少人数指導～

学力向上担当 鈴木 里江

本校では、算数の習熟度別学習・少人数指導が7年前より始まり、現在3年生以上で実施しています。

習熟度別学習は、プレテストの結果やどういふことをもっと学習したいかなどを考え、定着コース・充実コース・発展コースの3つ(担任・習熟度別指導担当・算数指導助手で担当)に分かれます。(2つのコースになることもあります。)学級内で分割したり、学級を解体し、学年全体で習熟度別学習を実施したりと、様々な形態での学習を進めています。その他にも、学級を単純に2分割・3分割にしての少人数指導も実施しています。少人数にすることにより、きめの細かい指導ができたり、児童の発言もより活発になったり等のメリットがあります。子どもからも「たくさん発表できて楽しい。」「ゆっくりわかるまで説明してもらったので、よく分かった。」などの声が聞かれます。

これからも基礎的基本的な内容を確実に身につけ、さらに基礎を身につけた児童が発展的な内容を学習できるように教材やシステムの工夫をしていきたいと思っています。

復習教室

